

岡山駅前広場のデザイン計画(概要)

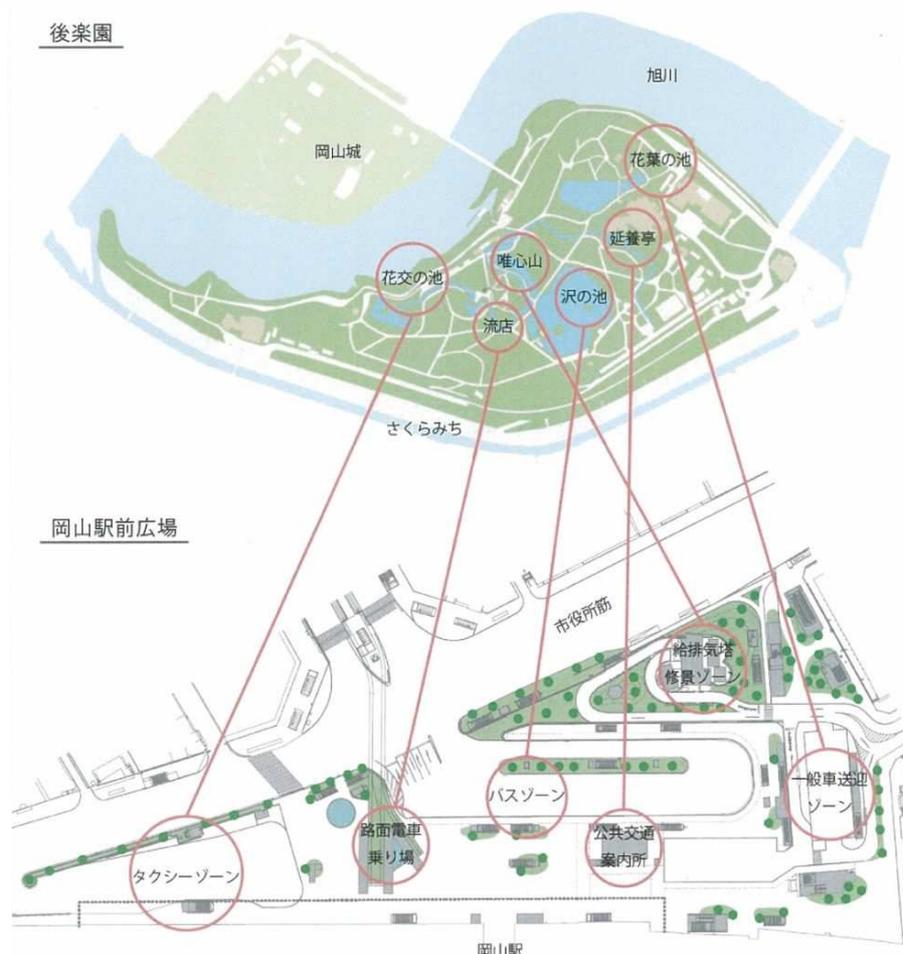
1. 岡山駅前広場整備のコンセプト

公共交通を中心とした「人が主役」のにぎわい拠点となる広場

2. 岡山駅前広場のデザインコンセプト

1) 後楽園に「見立て」た、緑あふれる《都市の庭園広場》としての岡山駅前広場デザイン

駅前広場と後楽園は、同じような三角形で、それぞれに符号する対応関係を見出すことができる。



2) 人が主役の《にぎわい拠点》と《公共交通拠点》となる駅前広場ゾーニング

- ・公共交通相互の乗り換えのわかりやすさ、利便性の向上
- ・岡山の玄関口にふさわしい岡山市街への開放的な風景の確保
- ・新たなランドマークとなる噴水施設の整備
- ・緑あふれる駅前広場

3) 岡山らしさを感じられる《県産材》の自然材料や配色でまとめた統一感のあるデザイン

《県産材》の木や石などの自然素材による仕上げ、色彩とすることで、「岡山らしさ」を感じる

- ・軒天材⇒木質仕上げ(スギ、ヒノキ、CLT)
- ・屋根材、換気塔の基調色⇒ダークグレー色(岡山城の外壁、瓦)
- ・舗装材⇒ライトグレー色(後楽園や岡山城の敷石)

岡山駅前広場のデザイン計画(概要)

3. 各施設について

公共交通案内所(延養亭)

- ・屋根材:ダークグレー色
- ・軒天材:県産材の木材使用
- ・外壁面:ガラス



修景ゾーン(唯心山)

- ・唯心山に見立て築山を整備
- ・特徴的な給排気塔はランドスケープとして整備



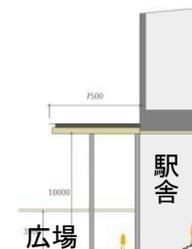
路面電車 電停(流店)

- ・岡山市街へと向かうようなゆるやかな曲面屋根
- ・軌道緑化の実施(広場内)
- ・軒天材:県産材の木材使用



大庇の新設

- ・岡山市街への風景の見通しが良くなる
- ・設置は、動線の連続性を確保した範囲とする
- ・軒天材:県産材の木材使用



点在する階段(亭舎)

- ・後楽園に点在する廉池軒や茶祖堂等の亭舎に見立てる
- ・県産材の石等のベンチを隣接して設置
- ・植栽と一体的にデザインし、憩いの休憩スペースとする



噴水

- ・花交の滝に見立てる
- ・新たなシンボルとして和の庭園水景となるカスケード(滝)と水盤を整備



バス、タクシー上屋

- ・シンボリックな片流れ屋根のデザイン
- ・屋根材:ダークグレー色
- ・軒天材:県産材の木材使用



桃太郎像

- ・向き:鬼が島のある瀬戸内海方面
- ・配置:桃太郎大通り方面へのビューに溶け込むような位置
- ・台座:万成石(高さ2m程度)



植栽

- ・桜林、梅林、千入の森の見立てとなるデザイン
- ・年間を通して緑のイメージを確保
- ・一年中どこかに見どころがある

4. 動線・案内について

各施設に雨に濡れないで行ける、また、路面の色を変えるなどわかりやすい動線に配慮

デザインの統一(東口駅前広場、西口駅前広場、東西連絡通路、地下街)

- ・基調色は、ダークグレー
- ・シンプルな厚みの薄い洗練された案内板
- ・ピクトを活かした、わかりやすい案内デザイン

案内サインの種類の整理

- ・広場としての広がりや視線の妨げとならない⇒独立タイプは避ける
- ・壁面、屋根などと一体的にデザイン⇒壁面貼付、屋根吊り下げ、路面標示

壁面貼付



屋根吊り下げ



路面標示



5. 概算工事費

駅前広場整備費	29億円
軌道関連整備費	10億円
交差点改良費	4億円
計	43億円

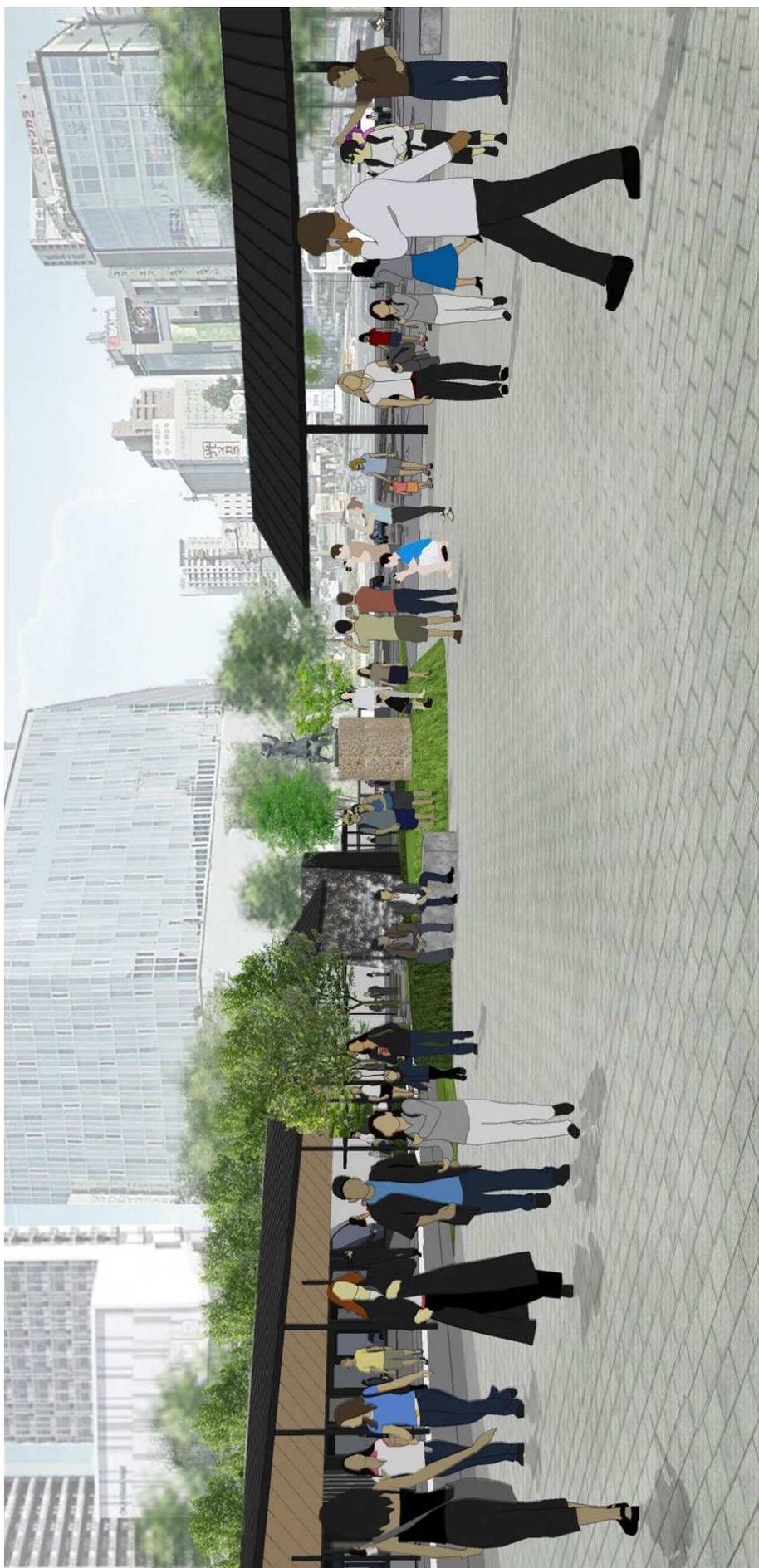
- ・国からの交付金、交付税措置などを最大限活用。
- ・軌道関連整備費については、運行事業者も一部負担。











岡山駅前広場のデザイン計画(概要)

6. スケジュール案

